

Kodak
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Centimetres

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

監定徳川律法

下

73

683

2

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

20

1

2

3

門 邊
號 688
卷 2



平井推八

右 七の儀武所

於大官原小刀賣

を切殺金銀を奪

取^り其^の上^に退^り刺^す

本^人亦^ち痛^め法^に

性^を大^に大^に取^り

刺^す其^の後^に外^に

致^す其^の後^に後^に重^に

不^得其^の後^に其^の於^て

石^川縣^に行^く中^に

此^の文^を

延^享三^年十^月三^日

鑒定 德川律法卷之下

大谷木書庫

東京府平民

田島象二編纂

大谷木純堂

賊 盜

盜寶庫金銀

凡御城内寶庫ノ金銀ヲ盜ム者ハ皆引廻シノ上

磔未夕得ザル者ハ皆引廻シノ上梟首文化十二例

常人盜

凡御城内役局ニ於テ盜ヲナシ。因テ火ヲ放ツ者

ハ皆磔文化十二例

鑒定 德川律法

卷之下

賊 盜

一

佐原氏藏版

凡竊盜。途上ニ財ヲ盗ム者。十五歳以下ニシテ。無籍ナル者ハ非人ノ手下

凡脚夫。其寄託ヲ受ル所ノ。金子入文書ヲ破解シテ其金ヲ盗ム者ハ。贓ノ多少ヲ論ゼズ。引廻シノ上梟示。

盜田野穀麥

凡田野ノ穀麥。菜菓ヲ盗ム者ハ。贓ニ計ヘ金拾兩以上ハ死罪。以下ハ黥ノ上重笞。金壹兩以下ハ笞。牛馬ヲ盗ム者モ皆同罪。

奴婢奉公人盜主人財物

凡奴婢奉公人。主人ノ財物ヲ盗ム者ハ。凡盜ヲ以テ論ズ。若シ使役先ヨリ拐帶スル者ハ。金壹兩以上ハ死罪。以下ハ黥ノ上重笞。

恐喝取財

凡恐喝シテ人ノ財物ヲ取ル者ハ。其恐喝ノ情シテト場處ノ位置ニ因テ。輕重シ贓ニ計ヘ。凡盜ヲ以テ論ズ。

凡待合茶亭。及ビ割烹店。總テ來賓ヲ請フ家ニ入リ暴言以テ人ヲ恐喝シ。營業ノ妨害ヲナシテ財物ヲ勒有スル者ハ。並ニ笞ノ上中追放。延享元例文化十一

一九人申合又ハ不
五穀ヲ所酒屋外
ヲ酒食代押借
等ハ為世の
妨之故ハ極
成押借認

の
文政八一之條無福
能み外一人教
の上中進叙

一利欲之迷ハ遊
女揚代を外人
能み外一人教
取れもの
續類集八福
うり角又政
八酉年發有町
奉り何
發有傳馬町
持伎二并八墨
の上教

例
凡遊女屋強テ遊女。及ビ飲食ヲ勸メ。揚代並ニ飲
食ニ附掛シ財ヲ勒索スル者ハ。黥ノ上笞。文政八例

詐欺取財

凡官司ニ關係ヲ有スト詐欺シ。研訊上ノ事ニ就
テ賤ヲ取ル者ハ。流罪。享和元例

凡船子其寄託ヲ受ル所ノ荷物ヲ打荷。或ハ破船
ト称シ詐取スル者。及ビ颯ニ遭ヒ打荷シ。遺存ノ
荷物ヲ詐取スル者ハ船長上乘ハ並ニ引廻ノ上

梟示。水夫ハ皆黥ノ上重笞。若シ其沿海ノ里正同
ウニシヨ

百ヶ條目ニロク
極貪心もの其子
を同輩者遺
臣ハ旁心同然
故養父又外
ゆと人をも引
去りちを捨別
事

一娘を引賣女
子可出教
連歸ゆとの
安永七成年
物牢曲淵甲斐
録り本所長岡
茂八在立舟
お浅草獄門

謀シテ浦證據ヲ與ヘテ。賊ヲ分ツ者ハ。其地ニ於
テ梟示。其賊ヲ倉庫ニ預リ。賊ヲ分ツ者ハ死刑。窩
主ヲ為シ賊ヲ分ツ者ハ流刑。運搬シ賊ヲ分ツ者。
首ハ重追放。徒ハ應身代重過料。寛保三

畧賣人

凡人ヲ略賣シテ遊女トスル者ハ死刑。媒介シテ

賤ヲ得ル者ハ。重追放。買取スル者ハ身代金ヲ損
失。寛保
蒼頭トスル者ハ。重追放買取スル者ハ百
日手鎖。天明
牙保ハ五貫文過料。

凡子孫ヲ略賣シテ遊女トスル者ハ。成否ヲ論ゼ

ズ臬示。安永七例

盜賊窩主

凡強盜ノ窩主クワシユ共ニ謀テ造意セズト虽モ。賊ヲ分
チ并ニ典賣ノ媒介トクモチスル者ハ死罪。元文又賊ヲ分
タザル者ハ。重追放。若シ盜犯磔ニ該レバ成罪。保寛
ニ

凡竊盜ノ窩主。共ニ謀テ造意セスト虽モ。賊ヲ分
ツ者ハ咎。分タザル者ハ本籍逐釋。

凡盜賊タル者ヲ知テ。典賣ノ牙保ヲナシ。及ビ寄
藏スル者ハ。咎。其盜賊タルヲ知ラズト雖モ。出所

ヲ糾タサズ。典賣ノ牙保ヲ為ス者ハ過料。武家ハ江
戸逐釈。僧徒ハ三十日乃至五十日逼塞。

凡典舖リナヤ盜賊タルヲ知ラズト虽モ。牙保ナクシ
テ典買スレハ物ヲ追シテ本主ニ給シ。仍ホ過料。

若シ牙保及ビ回歷キリカキヲ借ス者アレバ。價ヲ追ノハ
シム。其償フ事能ハザル者ハ直チニ。典舖ヨリ追

ス。享保六〇元文五

凡盜賊ト知ラズ。買取スル者ハ物ヲ追シテ本主
ニ給ス。若シ牙保アレバ價ヲ償ハシム。其償フ
能ハザル者ハ直チニ買主ヨリ追ス。買主ヨリ追

スルノ後チ。盜犯猶ホ其金ヲ所持スルニ於テハ
其金ヲ官没ス。享保六〇元文五

凡盜賊タルヲ知テ。故買スル者ハ。本籍逐釋。再
犯以上ハ黥ノ上重追放。從來專業トセシ者ハ。成

罪。寛保元〇寛保三

凡盜賊ニ係ル落算ヲ公布スルニ。其賊ヲ知テ故

ラニ欺隱スル者ハ。家財ヲ官没シテ江戸逐釈。寛保

二

越私度關門

凡男女俱ニ謀テ。關門ヲ越度スル者ハ。皆磔。若シ

其越度タル事ヲ知ラズ誘引サレシ女ハ坐セズ。
越度ヲ引路スル者ハ。磔。私度スル者ハ。男ハ重追
放。女ハ奴。

人命

謀殺

凡人ヲ謀殺スルニ。造意者ハ。梟尔。從ニシテ加功モクホミニシスル者ハ流刑。加功セザル者ハ。中追放。寛保三若シ傷シテ成セザル。造意者ハ死罪。從ニシテ加功スル者ハ中追放。加功セザル者ハ本籍逐釋。寛保三〇同四若シ謀リテ已ニ行フト雖モ未タ人ヲ傷セズ止タダ放潑ニ止マル者ハ造意者ハ。重追放。從ハ本籍逐釋。寛保三追加例

凡人ヲ謀殺スルニ。人ニ依託シ謀殺セシムル者ハ。抵死。ゲレニシ受託者。及ビ引路スル者ハ。並ニ流刑。寛保二武家ハ依託者ハ改易。受託者ハ江戸逐釋。凡途上ニ要シテ。乱リニ往來ノ人ヲ殺ス者ハ。引廻シノ上死罪。

凡殿中ニ於テ人ヲ謀殺シ。及ビ傷シテ死セザル者ハ。改易ノ上自裁。セツブク

謀殺主人

凡奴婢奉公人。主人ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ。死罪。寛保元已ニ傷スル者ハ。曝市ノ上磔。已ニ殺ス

者ハ。二日曝市。一日引廻シ。鋸挽ノ上磔。若シ奴婢
主人ノ親族ヲ謀殺スルニ。己ニ行フ者ハ死罪。己
ニ傷スル者ハ引廻シノ上死罪。己ニ殺ス者ハ引
廻シノ上梟示。寛保元

謀殺、祖父母父母

凡祖父母父母ヲ謀殺スルニ。己ニ行フ者ハ死罪。
寛保 己ニ傷スル者ハ。磔。己ニ殺ス者ハ。引廻シノ
上磔。

謀殺、舅伯父伯母兄姊

凡舅伯父伯母兄姊ヲ謀殺スルニ。己ニ傷スル者

ハ死罪。己ニ殺ス者ハ。引廻シノ上梟示。寛保ニ〇元
文元

謀殺、旧主人

凡旧主人ヲ謀殺スルニ。己ニ行フ者ハ死罪。己ニ
傷スル者ハ引廻シノ上磔。己ニ殺ス者ハ。曝市ノ
上磔。寛保元

謀殺、受教師

凡受教師ヲ謀殺スルニ。己ニ傷スル者ハ。死罪己
ニ殺ス者ハ磔。

謀殺、本屬里正

凡百姓町人。本屬ノ里正ヲ謀殺スルニ。己ニ傷ス

ル者ハ死罪。己ニ殺ス者ハ引廻シノ上臯示。寛保ニ

家守謀殺地主

凡家守其地主ヲ謀殺スルニ己ニ傷スル者ハ死罪。己ニ殺ス者ハ引廻シノ上臯示。旧地主ハ一等ヲ減シ。傷スル者ハ流罪。殺ス者ハ引廻シノ上死罪。寛保ニ

謀殺子孫弟妹甥姪

凡子孫弟妹甥姪ヲ謀殺スル者ハ死罪故殺スル者ハ流刑。寛保ニ

殺成姦夫

凡妻妾入ト姦通スルニ本夫姦所ニ於テ親ラ姦夫姦婦ヲ獲テ即時ニ殺ス者ハ論ズル勿レ。寛保三
若シ本夫止々姦夫ヲ殺ス者ハ姦婦ハ姦罪。享保三
若シ姦夫姦婦姦所ニ於テ本夫ニ撞見セラレ。獨リ姦夫脱逃行跡ヲ失スル者ハ姦婦ハ本夫ニ附シテ其存意ニ行ナハレム。寛保三
其妻妾姦ニ固リ同謀シテ本夫ヲ殺ス者ハ皆引廻シノ上磔。若シ姦夫自ラ本夫ヲ傷スル者ハ引廻シノ上臯示。姦婦情ヲ知ラサル者ハ本罪ニ科ス。寛保元

凡姦婦自ラ本夫ヲ殺スニ。或夫ケウ教唆カウシ。若クハ加功スレハ。梟示。

凡姦通セントレテ婦ノ寢所ニ潛入スルヲ夫撞見シテ殺ス者ハ。研訊スルニ。和衷ノ確實ナキ者ハ。強姦ヲ以テ論シ其罪ヲ論セズ。寛保三

若シ婚約已ニ成ル女。常人ト姦通スルヲ撞見シ男ト并セテ殺ス者ハ研訊ノ上。女ガ将来ノ行為ヲ省破セシノ情。及ビ夫家ニ謝スルノ情。確實ナル者ハ。論ズル勿レ。元文元

創定 殺一家三人一ノ夫一ノ妻一ノ子

凡行盗シテ。一家ノ死罪ニ非ザル。三人以上ヲ殺ス者ハ首従ヲ分タズ皆梟示。天保十一例

毒藥殺入

凡毒藥ヲ用ヒテ。人ヲ殺ス者ハ梟示。藥シテ死セザル者ハ流刑。寛保二

闘毆及故殺

凡闘毆シテ。人ヲ殺シ。及ヒ故殺スル者ハ。手足他物金及ヲ問ハズ。并ニ抵死。傷スル者ハ。中追放カマ瘵カマハ流刑。寛保元

若シ同ク謀リテ。共ニ人ヲ毆チ。目ヲ死ニ致スニ。

市川万五郎
市川久三郎

右者享保十七年
二月万五郎藏市
ヶ谷四町四丁目
町人休みの意
外波しむ付討留
い者も若も大久保
村本多捕頭定右
情つゝあつて
穿鑿し上蓋外
月の無給有例
上世様方申渡

最先手ヲ下ス者ハ。抵死。止タ毆スル者ハ中追放。
未タ毆ザル者ハ重過料。

若シ暴人放潑シ。其身ヲ致命傷セントスルニ曰
テ。已ムトヲ得ス殺ス者ハ。流刑。

凡武家。卒以下軽キ百姓町人ヨリ法外ノ暴言ヲ
以テ耻シメラレ。已ムトヲ得ス殺ス者ハ研訊ス
ルニ確實ナル者ハ。論スルト勿レ。

過失殺傷人

凡過失ニテ人ヲ殺ス者ハ。死者ノ父母親族ノ存
意ヲ尋問ノ上流刑。傷スル者ハ銀壹枚ヲ追贖シ

レ傷者ニ給シ。醫藥ノ資トナス。傷ニ因テ死ニ致
ス者ハ中追放。延享元〇寛保元

弓銃殺傷人

凡故ナク。弓箭銃砲ヲ放テ。人ヲ殺傷スル者ハ。研
訊スルニ過失ノ確實アル者ハ。過失殺傷ヲ以テ
論ズ。寛保元

若シ定タル弓箭。及ビ銃砲ノ練場域内ヲ故ナク
通過スル者ヲ殺ス者ハ三十日閑任傷スル者ハ
論ズル勿レ。寛保元〇延享二

車殺人

凡故ナク車ヲ馳驟シ。因テ人ヲ傷スル者ハ流刑。
死ニ致ス者ハ。死罪。若シ人ニ觸レザル道路ヲ挽
通シテ。傷スル者ハ。中追放。死ニ致ス者ハ流刑其
尙主ハ重過料。輓夫ノ家守ハ過料。享保七〇寛保九

牛馬殺ス人ヲ

凡故ナク牛馬ヲ逐驅シ。因テ人ヲ傷スル者ハ。中
追放。死ニ致ス者ハ死罪。廢疾營業ナリ難ニ致ス
者ハ流刑。寛保元

渡舟殺ス人ヲ

凡過失シテ渡舟ヲ沈没シ人ヲ殺ス者ハ。過失殺

瘋癲殺人

享保十九寅年律
書加シテ書付
一右術定書(本文)
瘋癲殺人條(上)者
方撰其人ヲ格合似
寄リ程(上)の殺害
ハ仰リ候(上)付(上)反
於(上)河(上)岡崎(上)宿
尾張(上)郡(上)足(上)野(上)心
紋(上)一(上)等(上)差(上)罪(上)人
足(上)切(上)殺(上)は(上)是(上)至
而(上)怪(上)キ(上)も(上)の(上)故(上)不
及(上)鮮(上)死(上)人(上)序(上)據(上)也
ハ(上)自(上)今(上)律(上)心(上)以(上)考
ル(上)事(上)

傷ヲ以テ論ス。享保元

瘋癲殺人

凡瘋癲人ヲ殺ス者ハ。控(上)死(上)若シ古疾ニ罹ル證跡
確實ニシテ且死者ノ主人。或親族。死ヲ宥メント
請フトキハ。詮議ノ上罪數等ヲ減ス。若シ死者ノ
身分至テ下賤ナレバ論ズルヲ勿レ。其主人父母
ヲ殺ス者ハ。赦宥ヲ聽サス。死罪。若シ因テ自殺ス
ル者ハ。厥ヲ棄捨セシム。享保六

謀同死

凡茲夫茲婦同死ヲ商謀スルニ。茲婦已ニ死シ。茲

謀同灰

無宿浪人

原田伊太夫

第二十七

右ノ者儀津輕若松家東原田伊南陣多江戸佐祐筆役お勤罷去去春三月以テ新老原江戸町多子月老六在老四神抱遊女尾上を囃揚遊交々奉以テ百ラ多きハ成を成役人モ存不肯尾を承々眼出可系方所月老四の之在城尾上にお對死多段与り合去十二月二十

夫未タ死セズ。茲夫已ニ死シ。姦婦未タ死セザル者ハ。并ニ抵死。俱ニ死スル者ハ。屍ヲ棄捨シ弔祭ヲ許サス。未タ死セザル者ハ。三日曝市ノ上。各非人手下。享保七

私和人命

凡祖父母父母。人ニ殺サレ子孫私和スル者ハ。流刑。里正ハ輕追放。班頭ハ本籍逐釈。寛保情ヲ知ラザル者ハ。坐セズ。凡子孫。人ニ殺サレ。父母私和スル者ハ。本籍逐釈。寛保四

赤尾上所持... 後一ヶ所... 兩人... 非人手下... 松老... 新老... 江戸町... 本四... 尾上... 文署...

凡親族親族ヲ殺シ。私和スル者ハ。并ニ過料。情ヲ知テ告ズ。及ビ隱庇シテ。行兇人ヲ脱逃セシムル。里正ハ中追放。班頭ハ本籍逐釈。

秘地界内、死屍

凡地界内ニ死屍。及ビ負傷者病人等ノ死ニ濱セントスル者アルヲ。官司ニ申稟セズ。輒ク他所ニ移シ。及ビ埋藏スル者ハ。里正ハ職務ヲ免シ。仍ホ過料五貫文。班頭ハ三貫文。家守ハ五貫文。過料。延享凡地界内ニ棄兒アルヲ。輒ク他所ニ移ス者ハ。本籍逐釋。里正ハ江戸逐釋。鄰佑及ビ家守ハ。並ニ過

若シ官廳前ニ於テ。忿争スル者ハ各手鎖。宝曆七例

毆主人ヲ

凡奴婢奉公人。主人ヲ毆ツニ已ニ行フ者ハ。流刑

安永已ニ毆ツ者ハ。死罪。死傷ニ致ス者ハ。並ニ謀

殺ニ准シテ論ズ。享保元

其主人ノ親族ヲ毆ツ者ハ。重追放。其毆ノ造意深

キ者ハ。死罪。寛保元

毆祖父母父母ヲ

凡子孫。祖父母父母ヲ毆ツニ。已ニ行フ者ハ。流刑。

已ニ毆ツ者ハ。死罪。死傷ニ致ス者ハ。並ニ謀殺ニ

准シテ論ズ。

毆伯父伯母兄姊ヲ

凡姪。伯父伯母ヲ毆ツ者ハ。流刑。弟妹。兄姉ヲ毆ツ

者モ罪亦同。若シ死傷ニ致ス者ハ。謀殺ニ准シテ

論ズ。享保ニ〇延享元〇安永六例〇享和十二例

武州羅羅郡

東方村

名主

安永

金花

磯吉清

右ノ者。威酒。俗

辭口論。上伯父

友。及打擲

以。後。不。知。自。重

島

安永六酉年
十月廿五日

訴訟

訴訟

凡訴訟。不條理ニシテ研訊レ難キ事ヲ再訴スル者ハ。過料。若シ推テ他ノ府尹^{フキヤウ}ヘ訴ヘ。尚ホ受理研訊ナラザルトキハ。武家寺院ハ凌錮。百姓町人ハ手鎖。享保五年

凡訴訟。受理ナリ難キ事故ヲ評定所ノ理匱ニ投スル者ハ。手鎖。三犯以上ハ。江戸逐釋。寛保元

凡訴訟。裏判及ビ差紙ヲ得テ敢テ領受セザル者ハ。本籍逐釋。

凡訴訟。一旦判決ニ甘服シテ。後チ違フ者。及ビ兩造判決ヲ破毀シテ。私縦私和スル者ハ。各中追放。

強訴

凡縣令。及ビ本治ノ地頭ニ對シ。衆ヲ聚メ強訴スル者ハ。造意ハ死罪。從ハ卹高二應シ過料。里正ハ重笞。班頭^{シカシラ}ハ。田宅ヲ官没シ本籍逐釋。若シ其訴訟。理直ナレバ一酈ニ數等ヲ減ズ。寛保元

門訴

凡縣令。及ビ本治ノ地頭ニ對シ。衆ヲ聚メ。門訴スル者ハ。造意ハ流刑。造意ニ亞ク者ハ江戸逐釋。從

ハ急度叱リ。里正役ナレバ。中追放。班頭クマガシラ役ナレバ。本籍逐釋。明和ハ

誣告

凡誣テ人命ヲ告ル者ハ。重追放。情重キ者ハ流刑。造意深重ナル者ハ。死罪。享保元

若シ誣テ告ルニ。情輕クシテ。纔ニ褒賞ホウシヤウヲ圖ルニ止マル者ハ。笞ノ上中追放。

干名犯義カシラマシ

凡奴婢奉公人。主人ノ私事ヲ告ル者ハ。實ヲ得ルト雖モ。流刑。明和ニ例主人ノ罪ハ治セズ。誣告スル者

ハ磔。若シ公儀ニ干渉カマワルスル。重事ヲ告ル者ハ。實ヲ得レバ。主人ノ罪一等ヲ減シ。告者ノ罪亦數等ヲ減ズ。子孫コソノ祖父母父母ヲ告ル者モ亦此例ニ依ル。延享元

詐偽

偽造實貨

一似南鐮銀拵
以偽貨出未方室
うんげんをひらき
考考しあ
文化五年年
五月二無宿吉
五部引也
上り抄書碟

凡宝貨ヲ偽造スル者ハ。己ニ行使スルト未タ行

使セザルトヲ問ハズ。引廻シノ上磔元延享情ヲ知

テ買仕スル者ハ死罪。文政十其偽造ト知ラズ。他

ヨリ受ケ。後ヲ偽造タルヲ知テ。一時物價ノ扨當

トナス者ハ。三十日手鎖。明和八例

凡封金ヲ偽造スル者ハ。金壹兩以上ハ死罪。寛政

偽造官繪符

凡官ノ繪符ヲ偽造シ。使行シテ財ヲ得ル者ハ梟

示。凡ハ

偽造斛斗秤

凡斛斗秤ヲ偽造スル者ハ。引廻シノ上梟首。若シ

斛斗ノ方寸。秤量ノ標星。式ニ違ハサレバ中追放

寛保ニ

偽造朱及朱墨

凡朱。及ビ朱墨ヲ偽造スル者ハ。家財ヲ官没シテ

本籍逐釋。寛保ニ

謀書謀印

凡謀書謀印シテ。財ヲ取ル者ハ。引廻シノ上梟首。

皇朝律例
卷之十
雜律
三十一
在源氏藏板

西丸火了案
野口
兵三郎

古者享保十七子
年若共三郎藏
浪人二宮官次方
より金子借り申
支配所目付言山
出立つて用い由儀
いぬ多形文書之
恐り人金を借用
致し不申し自共
之罪成罪申付

加印スル者ハ成罪情ヲ知テ文書ヲ造ル者ハ重
追放。享保 若シ謀書謀印ニ非ト虽モ金錢ヲ借ル
ニ官吏又ハ主人。或ハ本属長者ノ名ヲ冒用記入
スル者ハ成罪情ヲ知テ貸ス者モ亦同罪。享保十
七例
詐称官許一
凡官許ヲ得ザル事ヲ得ルト詐称シ。會社ヲ設立
シ。及ビ官許ノ標牌ヲ掲クル者ハ。家財ヲ官没シ
テ本籍逐釋。延享九

詐稱執政家人一

凡執政ノ家人ト詐称シ。財物ヲ勒カスル者ハ成
罪。享保二

罪。享保二

偽造藥種一

品川初之助
丸屋七玄衛
方三居
權人
元四郎
享享保十五年
元四郎茂橋授
手七人
源人參り付傳
作三衛
中合金子衛取
り服不付死
罪了付

假關毆圖財一

凡偽造藥種。人命ニ關スル。内用藥ヲ偽造シ財ヲ
盡ル者ハ。引廻シノ上成罪。依託ヲ受テ專賣シ財
ヲ取ル者ハ。家財ヲ官没シテ中追放。外用藥ヲ偽
造シテ財ヲ圖ル者及ビ依託ヲ受テ專賣シ。財ヲ
取ル者ハ。首從ヲ分タズ皆中追放。從前ノ例○安永七例
假關毆圖財一
凡同夥俱ニ謀テ。人ト關毆シ。偽テ中裁ト称シ。財
物ヲ勒要スル者ハ。首從ヲ分タズ皆中追放。傷ス

鑑定徳川律
卷之下
三十一
在源氏藏板

ル者ハ皆死罪。享保二十

偽造小道具眞財

凡同夥俱ニ謀テ賣人買人トナリ。金銀ノ小道具。并ニ珊瑚珠等ノ偽造物ヲ途上ニ陳列シ。往来ノ人ニ勸メテ強賣シ財ヲ取ル者ハ。皆黥ノ上中追放。元文五例

犯姦

姦主人妻女
新找本町
法ニ由テ
又四ノ事

白木屋
於野
三四

此者儀ニ代虫ハ
と殺害通不存
付所中引由
成罪ア付

新找本町

法ニ由テ

又四ノ事

三四

此者儀ニ代虫ハ

と殺害通不存

付所中引由

成罪ア付

犯姦律

犯姦

凡和姦夫アル者ハ。各成罪。姦モ同シク論ス。媒合及ビ容止シテ。通姦セシムル者ハ。中追放。若シ婚約己ニ成リ。未タ夫家ニ入ザル者ハ。姦夫ハ輕追放。姦婦ハ剃髮。強姦スル者ハ死罪。夫ナキ婦女ヲ強姦スル者ハ。重追放。衆強姦スルニ。夫ノ有無ヲ論ゼズ。造意ハ梟示。從ハ重追放。幼女ヲ姦シテ折傷スル者ハ流刑。強姦成ニ致ス者ハ梟示。寛保三凡和姦夫アル者。屢バ艶書ヲ往復スルト。虽モ未

傍輩女子... 寛保元

寛保元

寛保元

寛保元

寛保元

夕通茲セサル者ハ。各中追放。延享二

姦主人妻女

凡奴僕奉公人。主人ノ妻ト姦スル者ハ。姦夫ハ引廻シノ梟示。姦婦ハ死罪。強姦スル者ハ磔。若シ主人ノ女ヲ姦スル者ハ。姦夫ハ中追放。姦婦ハ手鎖寛保元

若シ奴僕奉公人。主人ノ妻ヲ媒合通姦セシムル者ハ。死罪。女ヲ媒合通姦セシムル者ハ。本籍逐釈。寛保元

若シ養母養女。及ビ子孫ノ婦ヲ姦スル者ハ。各梟示。若シ姉妹。伯母。姪。ヲ姦スル者ハ。各遠國ノ非人手下。寛保二

親族相姦

凡養母養女。及ビ子孫ノ婦ヲ姦スル者ハ。各梟示。若シ姉妹。伯母。姪。ヲ姦スル者ハ。各遠國ノ非人手下。寛保二

凡奴婢奉公人。和姦スル者ハ各主人ニ下附シテ存意ニ隨シム。若シ他ノ奴僕奉公人。他ノ家ニ潛入シテ婢女ヲ姦スル者ハ。姦夫ハ本籍逐釋。姦婦ハ主人ニ下附シテ存意ニ隨シム。寛保四

僧徒犯姦

凡僧徒。女犯スル者ハ。住職ハ流刑。住職以下ハ三日曝市ノ上。其本山觸頭ニ下附シ寺法ニ行ハシ

寛保元

卷之下

廿二

在原氏載

密通可任... 寛保元

僧徒犯姦
寺社奉行
殿坂淡路守
敷巻
谷中日蓮宗
延命院
日道

其方獄一寺住職
なる身分を以て
淫徒を恣に
姉妹人又ニ

部所方下女ころ
及密會を以て
屋形向お勅女高
三人に宛書を以て
言ひ女高に誘ふ
遂密會或は通友
抑中女高に止
宿味ころ膳時
うり承縁胎に
葉を奪 怒り破
戒無悲之所行
ハ寺内作中女
奉初所日十五
柳を引遠縁を
建を以て女高
不承 至死罪
申付

私窩
延享二年極

ム若シ夫アル女ヲ其スル者ハ。任職以上以下ヲ
問ハズ梟首。茲婦ハ本罪ヲ以テ論ズ。享保六〇元文四
〇寛保二
若シ同炊ヲ謀ル者ハ。若婦己ニ死シテ玄僧未タ
死セサル者ハ死罪。

私窩

凡私娼ヲ街賣スル窩主ハ。田宅家財ヲ官没シテ
百日手鎖。再犯スル者ハ江戸逐釋。媒合容止スル
者ハ本籍逐釋。婦女ハ親族ニ下附ス。無告ノ者ハ
ミヨリナキ
三箇年新吉原ニ發遣シ。遊女トナス。婦女ノ牙保
及ビ人主ハ家屋財産ヲ官没ス。再犯スル者ハ江

一商物を以て
秋波せりとの妻
同心せらるる妻の
子也。わりの死罪
但飢喝を以て
婦中合賣女に致
ゆする盗者
悪事やうり
糾明を以て

戸逐釈。家守ハ。應身代過料ノ上百日手鎖。鄰佑ハ
過料。里正ハ重過料。地主ハ五箇年ノ其地面ヲ官
ニ納ル。情ヲ知ラザル者ハ坐セズ。享保
七 若シ其妻
妾ノ肯ンセザルニ。強テ私娼トナス者ハ死罪。享
保
八〇元文二〇今五〇延享二

雜犯

拆毀揭榜場

凡揭榜場ヲ拆毀シ。及ビ板榜ヲ毀スル者ハ。首ハ
笞ノ上。江戸逐釈。從ハ笞ノ上。本籍逐釋。安永例

私藏銃砲

凡私ニ銃砲ヲ藏スルニ。己ニ放ツ未タ放タザル
ヲ論ゼズ。江戸十里四方及ビ發放制禁線内ノ者
ハ流刑。江戸十里四方。及ビ發放制禁線外。關八州
内ノ者ハ。中追放。關八州外ノ者ハ。本籍逐釈。私藏
者居邨ノ里正。班頭ハ。私藏者流刑ニ該レバ重過

料。中追放ニ該レバ。急度叱リ。鄰佑ハ私藏者流刑
ニ該レバ。過料私藏者江戸十里四方内ノ者ナレ
バ其居村ノ總百姓ハ。輕過料。發放制禁線内ノ者
ナレバ其居村ノ總百姓ハ。過急トシテ壹箇年鳥
見役ヲ課ス

賭博

凡輕微ノ財物ヲ賭シ賣引。及ビ骨牌ヲ為ス者ハ。
皆笞。賭房主モ同ク論ス。五十文以上ヲ賭スル者
ハ。賭博ヲ以テ論ス。享保六創定。寛政六三月改定以下皆然リ
凡賭博廻リ箇ト否トヲ論ゼス。皆重笞。賭房主モ

同ク論ス。其賭房主ノ家守ハ應身代過料ノ上仍
ホ百日手鎖。同地主ハ五ヶ年間其地面ヲ官ニ納
ル。其兩隣鄰佑ハ應身代ノ過料。享保十一。延享元。寛政
六其里正ハ五貫文。其家並ハ三貫文。各過料。

凡賭博ノ箇取ヲ以テ業トスル者ハ。流刑。箇取賭
博ノ房主モ同ク論ズ。其家守。地主。兩隣鄰佑。里正。
家並ノ咎皆凡賭博條ニ依ル。享保十一。延享二

凡賭房ニ入り。傍觀シ未タ財物ヲ賭セザル者ハ。
急度叱リ。文化飲食ヲ驚ク者ハ。三貫文過料。寛政
例凡三笠附ノ賭博ヲ為ス者ハ。点者及ビ。資本主ハ
キンシ

并ニ流刑。句拾ハ家賊ヲ官没シテ非人手下。其賭
房ヲ開張スル者ハ。其列ニ與カラズト雖モ點者
ト同罪。其家守。地主。兩隣。鄰佑。里正。家並。咎皆凡賭
博條ニ依ル。同上

凡同夥ノ者ヲ扶助スル為ト称シ。賭博ヲ開張シ
募集スル賊ヲ竊ニ分ツ者ハ。流刑。其賭博開張及
ビ金子募集ニ周旋セズト虫モ賊ヲ分ツ者ハ。中
追放。

凡金二三兩ヲ賭シテ。圍碁將碁ヲナス者ハ。各中
追放。

凡主人。父母。賭博ヲナシ其奴婢奉公人。及ビ子孫。加入ヲ強誘セラレテナス者ハ。賭博ハ五十日手鎖。宝引骨牌ハ三十日凌錮。

凡賭博ニ用フルカク骰子ノ内。巧手ノカク骰子ヲ製スル者ハ。黥ノ上重咎。

凡博戲ニ用フル骨牌ヲ賣ル者ハ。江戸逐釋カク。媒カク介カクニテ買與フル者モ。亦同罪。

取退無盡

凡取退無盡ヲナス者ハ。催主ハ流刑。加入スル者ハ。忝身代ヲ過料。乃至五貫文三貫文ノ過料。寛保元

寛政四年九月廿
ハリテ書付

武家。家未經
きまの意引よみ
かた打らむ
徒士以上を島足
將中同らむ
辨

其家屋ヲ貸ス者ハ。其列ニ與ラズト雖モ。催主ト全罪。券札ヲ賣ル者ハ家屋ヲ官没シテ非人手下儀振。及ビ一般ノ周旋ヲナス者ハ。家財ヲ官没シテ江戸逐釋。催主及ビ家屋ヲ貸ス者ノ家守。地主。兩隣。鄰佑。里正。家並ノ咎。皆凡賭博條ニ依ル。享保十寛保元

武家賭博

凡武家輕微ノ財物ヲ賭シ。宝引及ビ骨牌ヲナス者ハ。徒士以上ハ流刑。以下ハ江戸逐釈。賭博ヲナス者ハ。尊卑ノ論ゼズ一辭ニ流刑。

僧徒賭博

凡僧徒輕微ノ財物ヲ賭シ。寶引。及ビ骨牌ヲナス者ハ。三十日凌錮。賭博ヲナス者ハ。住職ハ。法衣ヲ褫奪シテ中追放。所化以上ハ。全重追放。所化ハ同輕追放。三犯以上ノ。全中退放。

失火

凡火ヲ失シテ。自他ノ宅舎ヲ燒ク者ハ。小間十間以下ハ。其咎ヲ科サズ。寺社ハ。七日閑住。小間十間以上ハ。戸數ノ多寡ニ數テ十日ヨリ少ナカラズ。三十日ヨリ多カラザル凌錮。若シ御成ノ日。出御

ヨリ還御マテノ間ニ火ヲ失シテ小間十間以上ヲ燒ク者ハ。五十日手鎖。其地主。家守。月行事ハ。各三十日凌錮。鄰佑ハ。二十日凌錮。還御ノ後ハ。平生ノ失火ヲ以テ論ズ。特ク寺社ハ。十日凌錮。

放火

凡火ヲ放テ故ラニ。公廳倉庫。及ビ民舎ヲ燒ク者ハ。火罪。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。引廻ノ上。死罪人ニ假託シテ放火スル者ハ。本罪ニ問ヒ。受託スル者ハ。死罪。放火ヲ傍觀シテ告ザル者ハ。五十日手鎖。

停止スル制内於テ放溼シ。及ビ諸物品物ヲ打毀
 シ謹慎ノ態ナキ者ハ並ニ江戸逐釈。安永三例
 凡婚禮ヲ行フ家ニ瓦礫ヲ投シ放溼スル者ハ首
 ハ百日手鎖。後ハ五十日手鎖。因テ傷ニ致ス者ハ
 鬪毆ヲ以テ論ス。

得遺失物

凡市村ニ醉倒スル者其市村ノ吏人ノ介抱ヲ受
 ケ乍ラ却テ放溼スル者ハ笞ノ上江戸逐釈。享和
 三例
 凡遺失物ヲ得レバ必ス官ニ送ルベシ官物ハ全
 ク官ニ入レ私物ハ金錢ハ一半ヲ其主ニ給シ。一

半ヲ得ル人ニ給ス。家畜。器品。織物。等ハ全ク其主
 ニ給レ。相當ノ謝儀セシム。如シ三日間拾ヒ得ル
 市村ニ榜示シ其主ナケレバ尚ホ六箇月ヲ拘置
 シ其主ナケレバ全ク給ス。若シ官ニ送ラザル者
 ハ過料。享保六

凡遺失ノ物品ヲ得ルニ盜賊ニ係ル物ハ直ニ其
 主ニ還附シ止ダ受領ノ證ヲ得ベシ。若レ遺失物
 ノ主武家家人ナレバ其重役ノ申稟ヲ待テ後チ
 還附ス。文化八例

犯禁宗

凡禁宗ノ不受不施。及ビ三鳥派等ヲ敷教スル者。徒弟トナル者。及ビ宅舎ヲ賃ス者ハ。並ニ流刑。若レ改宗スル證蹟ヲ顯然挙ルニ於テハ重追放。其敷教スル者。在俗ノ者ニシテ改宗スル證蹟ヲ顯然挙ルニ於テハ。本籍逐釈。敷教ニ周旋スル者モ亦全罪。

百姓町人私帶刀

凡百姓町人。私ニ帶刀スル者ハ。刀ヲ官没シテ。輕退放。

蠱惑人

凡蠱惑人ヲ...

凡奇怪ノ異說ヲ唱テ人ヲ聚合スル者。及ビ宅舎ヲ賃ス者ハ。並ニ江戸逐釈。周旋スル者ハ本籍逐釈。寛保ニ

刑部省 律令 卷之七 捕亡 三十一 在 原 氏 藏 版

無宥

丈七

送中奉り向
拵令
此者誠伊奈半
左邊の家来而依
（内中係る科も
重き後へ未
ち係る）
わ者も序定准
成罪お苗了是
相牢、老牢拵
可致破りぬり
即、（此を信る者
少仕置申る）誠
可申支若あま

捕 亡

脱 獄

凡罪ヲ犯シ、囚禁セラレテ、脱獄シテ逃走スル者
ハ、各本罪ニ一等ヲ加フ。寛保ニ

其罪囚火災ノ変ニ因テ解放シ、三日ノ内投歸ス
ル者及ビ同牢ノ囚人脱獄スルヲ知テ、首報スル
者ハ、各本罪ヨリ一等ヲ減ス。

主守不覺失囚

凡主守罪囚ノ逃走スルヲ覺ラザル者、中追放

流 入 逃

凡流刑ニ所セラレシ者、島ヲ脱シテ逃走スル者
ハ、其島ニ於テ死罪。

追 放 歸 任

凡追放ニ所セラレシ者、其追放線内ニ歸任シ、及
ビ徘徊スル者ハ、各本罪ニ一等ヲ加フ。若シ退放
ノ宣告ヲ甘結シ、直ニ追放線外ニ去ラザル者ハ
黥ノ上仍ホ本罪ニ一等ヲ加フ。

隠 匿 罪 囚

凡火罪、及ビ行兇、強盜等ヲ犯シタル罪人タル事

例あえ不ア牢至
終院、（此等
立降り、本罪お
當り、一考極、可
ナ付者、序定、
見合逃去る者、
意、（趣意、
こころ、
付、
然、
後、
存、
為、
町奉、
隠、
一、
可、
境、
幾、

改定徳川律法

卷之七

捕亡

三十一

在 原 氏 藏 版

皇朝律例
刑部
刑律
刑部
刑律
刑部
刑律

本罪一等
杖九十
元文

ヲ知テ隱匿シ。或ハ逃走スル道路ヲ指引シテ他
所ニ隱避セシムル者ハ。死罪。元文五
若シ鬪毆ニ因テ人ヲ故殺シタル罪人ノ依頼ニ
依リ。義氣ニ因テ隱匿シ。及ビ逃走セシムル者ハ
急度叱リ。元文五
凡追放ノ者タル事ヲ知ラズト虫モ。其戸籍ヲ糾
サス店請トナル者。及ビ家店ヲ貸ス者ハ。並ニ過
料。

刪黥

凡黥ヲ刪ル者ハ。更ニ黥ノ上。各本罪ニ一等ヲ加

フ。黥者ノ依託ヲ受テ。為ニ刪ル者ハ。笞。延享ニ

私解手鎖

凡己ニ決シテ手鎖ニ所セラレシ者私ニ解ス者
ハ其手鎖定數日ニ一倍ヲ科ス。若シ未タ罪状決
セズ。研訊中手鎖ナル者私ニ解セハ百日手鎖仍
ホ本罪ヲ科ス。若シ手鎖ヲ解シテ逃走スル者ハ
各本罪ヨリ一等ヲ加フ。其手鎖咎人ノ依託ヲ受
テ解ス者ハ。過料。如シ因テ逃走スレバ受託者ノ
輕追放。其家守ハ重過料。延享元。寛保ニ

皇朝律例
刑部
刑律
刑部
刑律
刑部
刑律
三十一
陸原氏藏版



囚獄人饒舌ノ所謂牢名主ナル者、新入
 陽世うら去來が法た。大榎殺メ天殺的斜頭を下
 やアダれ牢獄内ハ首首御角役様だぞ工壹番位
 二列位やアがつた。壹二壹六壹候とり。大坊主野郎
 メ。備的やうナ大榎殺ハ。夜盗と不能為めへ。放火
 不能為破毀倉庫明松といけ碌々的ハ振へえ名。
 本田髪二銀煙管櫛や笄髻差の白撞兎を為アウ
 つたて大衆で申事。さうく如斯夏ぢやアある
 め名。又ハ堂社金仏本尊。橋梁の飾鐵具引剥
 やアウつて通り古鐵買へ。真鍮錢の下馬二小安

く賣與やアウつて二文三文の骨牌たう。薩摩昔
 諸の白食。夜發の白招てを為アがつて兩國橋
 を東往西來躊躇て。大屋の初るい水源に付出さ
 れて。去來ウツたらふ。直な杉樹曲と松樹可厭風
 こを靡うんせと。官廳にて申を通り。明白具状
 詰かしく詰とハ大小便をあをを云
 是新入的陽世。やア何と叫う。那と叫う。厠室と
 叫う。よく聞陽世。やア。後下とも厠室とも叫ふ
 ら牢獄内。やア。名う異り詰の神様と叫ふ。詰
 ハ本番奉助番とて。二人役が有て。日二三度夜二

三度監磨きよ為ところど。穴の真向投ッて。豎八寸。横四寸。前より打ッて。隠囊々く。廻りより打ッて。抹香縁其抹香縁へ。尿ても尿水でも。出恭ヤア。ヤア。你的が陽せり。着て来。一枚褌袍て拭せ。ヤア。あらくねく。夫も尿でも尿水でも。出恭たき。ヤア。權兵衛あら權兵衛。八兵衛あら八兵衛と。爾的姓名名乗て借ヤア。夫も二人役の受答の無うち。骨董舗の神酒瓶。六尺棒を吞ど。人足を見たやう。如意きり立をして居ると。牢獄格式の墨刑罪申ッ附ぞ。

續鼻禪申ッ付

昨夜來と新入。これ爾的どのハ陽せトヤア。何と叫ぶ帯と云々禪と叫ぶ。よく聞け。陽せトヤア。帯とも禪とも叫ぶが。牢獄内トヤア。名が異り帯の事ハ長もの禪の更ハ細りめと叫ぶ。其を向ふ通。又へ携て往て。いけ無禮的。ふり廻り。全座の相。囚人が首ても縊ると。你的抵戒。あらくねく。ヤア。あらくねく。你的が。紵明被仰附。御奉行様。出牢。證文の來る迄。肌身離。定然守ッて。新入。疊の端に付る更。

昨宵來之新入牢獄の規則申し附る。聞て置け。牢
 獄ハ初めう。元と來う。元と來も。初て來も。疊一疊
 々々。格式有之。嚴格い所。備的う。昨宵這入さ
 所ハ。御戸前口とも。獄屋門とも叫ぶ。那處を入が
 否や。拾も二拾も三拾も撲て撲投り出して為こ
 と被為ことも有が。拾二人御役人。撫恤を以て為
 も被為もささらぬぞ。你的が。昨今寸間待天明さ
 所ハ。無宿の大牢の落間たア。那處這入が否や十
 日や二十日五十日百日で上る處トヤアねへ。が。
 牢獄内ハ先年より。格式有て。下座の牢人。上座

の牢人ごき口の御牢人さん。彼的も陽世トヤア。
 謹慎的。若者タツテ。疊の端を御願ひあされ。今
 朝ま。牢の御角役様。御願申して。疊の端へ出
 去て。遣疊の端へ出ア。你的懸り。本
 番本助番と叫ぶ。役人の指圖。從ひ。唯々と云て。
 働う。マア。あらねへ。働と云て。陽世。偷兒。白撞
 兇。薪を割。米を搗。如斯。忙裡。トヤア
 ねへ。今。宛る。夜。一時の草履番夫を。謹慎
 相守る。夫も。陽世の氣質を出して。向ふ。通り
 同座の囚人を。相手どり。喧嘩口論。グ。ま。き。度。で

もそると牢獄内格式の所刑を申し附る牢獄内
 ハ段々所刑の多い所ぞ滅惣仕置ニ海老手鎖三
 足手鎖セヤハツケ段々撲てく撲廻すまとも
 所刑の多い所ぞ你的が御奉行様うら出牢證文
 の來る迄ハ日ニ二本の滅惣飯を喰て謹慎ニ志
 てある。爾的もまど素人の夏白ひ黒ひの深い
 御禮も知めへ。你的が懸りハ本番さん。本助番さ
 んの紹介を以て。牢人さんニ遇て。御礼申して貫
 へ定然申付ぞ。手を上げて座ニ居ろ。

二番役同志挨拶の事

是れ御隣の二番役様。諸今朝も結構を御天氣ニ
 つきまゝて。御互ニ朝声清早と相懸りまゝて悦
 び御訴と仕まゝて。私の方名主頭御隠居角役隠
 居拙者下役共具さし申し聞せまゝた。

食時の事

上座の牢人衆まど滅惣中下膳も碌ニヤア食
 まはまへ。御隠居さん。御願なされて御角役さん
 か座をろく小居と仰しやるうら。ろくニ居ろ

曉七ツ半時

詰ろく羽目通り詰ろく。役人衆牢人衆詰の

番衆詰洗の水をふちこんでハあらぬぞや詰ろ
 羽目通り詰ろ。夜が明る。御役人衆御牢人衆
 牢獄内の規則書ウ明白と見へてハあらぬぞや
 詰の羽目通りごき口前の御牢人衆方上座の牢
 人さん方下座の牢人衆助番坐。目ヲ覺して
 ろりやうぞや。詰ろ。総役人衆御牢人衆御
 戸前の鍵ル鞘戸の鍵ルちんやうりと。かつて
 いるらんぞや。詰ろ。羽目通り詰りましたア。
 詰りましたア夜が明たア。

赦宥ノ典

凡赦宥ハ上野或
 ハ芝増上寺ニ於
 テ之ヲ行フ申シ
 渡シニ曰ク

何某

同

其方々改改罪
 流罪もこの成
 分のあれど此
 度法事
 赦申付戻ニ鳥
 目五百文ヲ被下
 新有る存

○同引換

本罪赦宥條並圖

凡柳營社參及ビ佛事供用アレバ本罪成刑ニ該
 ル者ノ内其犯跡已チ得サルニ出ルト雖モ赦宥
 ノ理情ナキ者ハ其典ニ因テ二人乃至三四人本
 罪數等ヲ減或ハ赦免ス

東京府平民
三丁目十四番地

明治十二年十二月五日版權免許
同 十三年十一月十二日出 版

編纂者

東京府平民

田島象二

神田區五軒町

出版人

東京府士族

荏原惣七

十番地

東京府平民

吉川半七

日本橋區本石町

三丁目十四番地

京橋區南傳馬町
壺丁目十二番地

發賣人

大坂

松村九兵衛

同

柳原喜兵衛

同

前川善兵衛

同

大野木市兵衛

西京

佐々木惣四郎

同

田中治兵衛

神戸

鳩居堂

名古屋

片野東四郎

淡路須本

福浦文藏

駿州静岡

勝見儀助

